

2018年12月期 決算説明資料



株式会社アシックス
2019年2月13日

攻勢へ



WE ARE OUR CUSTOMERS'
LIFETIME
PARTNER

2019 TURNAROUND

- ✓ カテゴリー基軸の経営管理体制へ
- ✓ 2020を見据えた戦略的マーケティングの展開



2020 大爆発 DRASTIC EXPANSION

カテゴリー基軸の経営管理体制への移行



- ✓ 機能ごとに分かれていた組織を統合
- ✓ カテゴリートップがコミットした目標の達成に向けて邁進
- ✓ 2018年10月よりオニツカタイガーを社内カンパニー化

従来：機能別経営管理体制



パフォーマンスランニング

執行役員統括部長

高岡 典男

戦略/ マーケティング/ 企画・開発 / 生産 / SCM / 販売



スポーツスタイル

統括部長

鈴木 豪



コアパフォーマンススポーツ

執行役員統括部長

倉本 学



オニツカタイガー

執行役員カンパニー長

庄田 良二



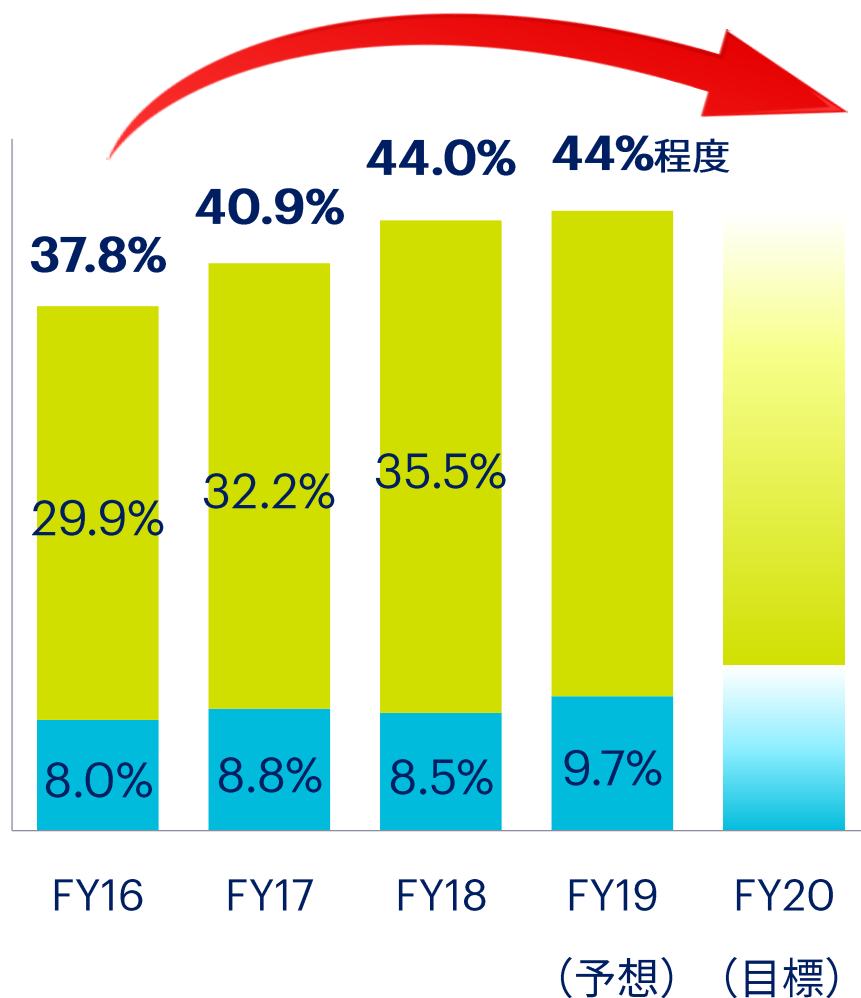
アパレル・エキップメント

執行役員統括部長

高月 敦史

販管費率の推移

■ 広告宣伝費率 ■ その他の販管費率



✓ 2019年以降は販管費率の増加に歯止め

– FY19の構造改革効果 △43億円

✓ その他の業務プロセスの改善も実施

- 直営店舗ごとの損益管理の徹底
- 社内シェアードサービスセンターの導入
- グローバル購買の実施

重点施策

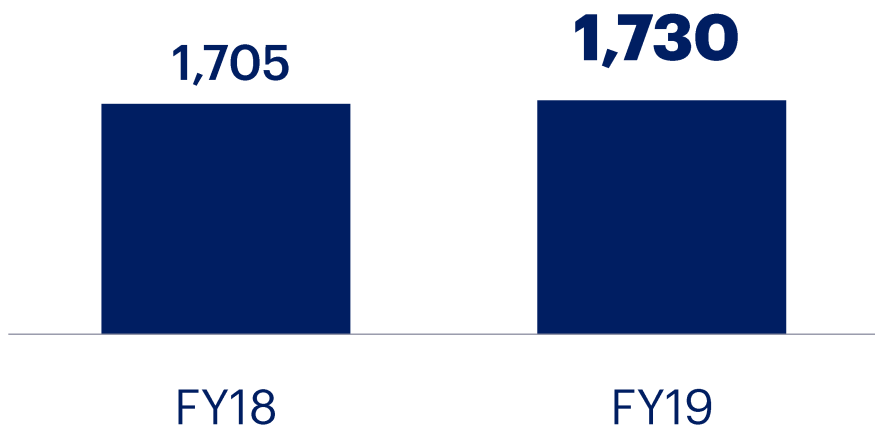
- ✓ パフォーマンスランニングシューズで勝つ
- ✓ オニツカタイガーの拡大
- ✓ 中国本部により成長を加速
- ✓ デジタルを新たな成長ドライバーに

パフォーマンスランニングシューズで勝つ (1)

✓ カテゴリーNo.1を目指す

- ー アメリカで勝つ
- ー ランニング専門店でのアプローチ再強化
- ー 革新的な商品の展開
- ー 明確なコンセプトをお客様に伝える

パフォーマンスランニングシューズ売上高目標
(単位：億円)



パフォーマンスランニングシューズで勝つ (2)

METARIDE

WIN THE LONG RUN “RUNを、もっとラクに、もっと長く。”





asics
I MOVE ME™

TARTHER® JAPAN

GEL-KAYANO® 25

走りへの情熱が、
東京をアツくする。

RED EMOTION TOKYO
TOKYO MARATHON 2019 LIMITED MODEL

TOKYO MARATHON 2019

アシックスは東京マラソン2019のオフィシャルパートナーです。

アシックスは東京マラソン2019の
オフィシャルパートナーです。



TOKYO MARATHON 2019

オニツカタイガーの拡大 (1)

- ✓ カテゴリー基軸の経営管理を先駆けて実施
 - 世界の主要地域において直轄できめ細やかに事業を推進
 - アジアでの直営店の成功事例をアメリカ、ヨーロッパなどへ展開
- ✓ 真のラグジュアリーブランドへ
 - 日本製の高価格シリーズ「THE ONITSUKA」を投入
 - グローバルで通用するセレブスターの活用
 - ブランドポジションを確立

オニツカタイガー目標
(単位：億円)

427

480

FY18

FY19



オニツカタイガーの拡大 (2)

✓ 真のラグジュアリーブランドへ

- 日本製の高価格シリーズ「THE ONITSUKA」を投入



中国本部により成長を加速

- ✓ 中国本部が迅速に意思決定
- ✓ 現地のニーズを反映した商品を適時に投入
- ✓ マーケティング投資の拡大
 - ー ブランドポジションを確立
 - ー 大規模（参加者3万名以上）の市民マラソンを支援
 - ー 直営店、デジタルから、商品の魅力を積極発信

中華圏目標
(単位：億円)

現地通貨ベース
での伸び率
+13%

396

410

FY18

FY19



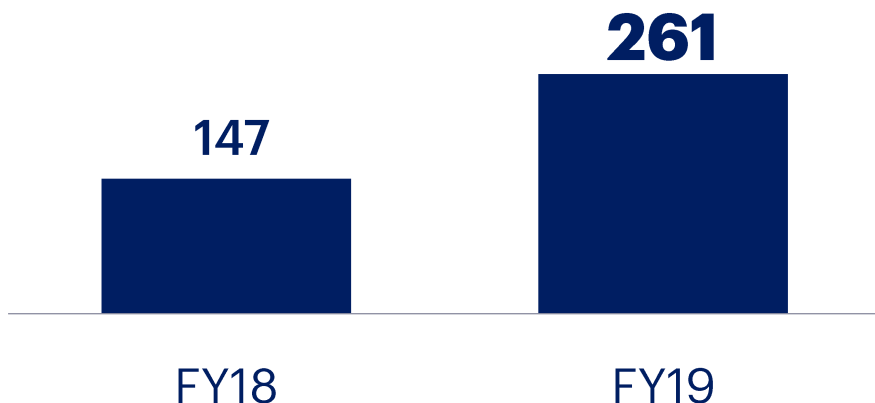
CHINESE NEW YEAR PACK

デジタルを新たな成長ドライバーに

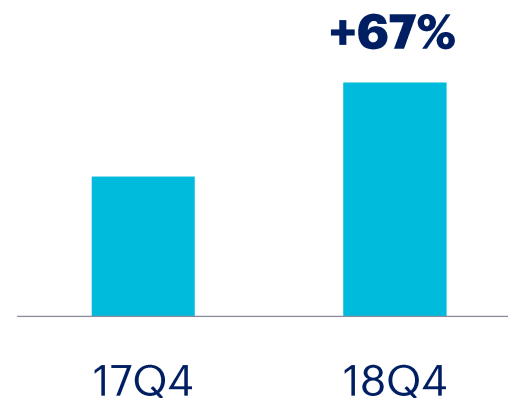
- ✓ 新しいメンバーシッププログラム
”OneASICS”を2018年に欧州と日本で導入
- ✓ データに基づいた自社Eコマース売上高拡大およびサービス向上につなげる



デジタル目標
(単位：億円)



欧州におけるOneASICS導入前後の
自社Eコマース売上高*



*マーケットプレイス除く

✓ 2020を見据え、将来成長のための戦略的マーケティングの展開を加速

✓ 2019年の施策

ブランドとして魅せる

- メディア露出への投資増加
- アスリートを含むインフルエンサーとブランドストーリーを発信
- ブランド体験への投資増加
- イベントでの露出、草の根活動の展開

お客様の購入につなげる

- 自社Eコマースへの投資
- 主要な取引先との協働

広告宣伝費の推移

(単位：億円)

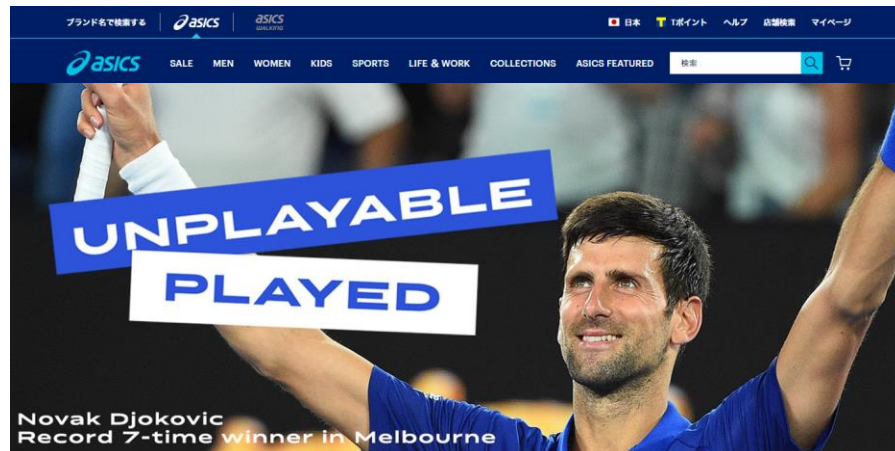


ノバク・ジョコビッチ選手

2018年男子プロテニス協会
シングルス世界ランキング1位*
2019年全豪オープン男子シングルス優勝

着用モデル：COURT FF NOVAK

*2018年12月31日時点



アンドレス イニエスタ選手

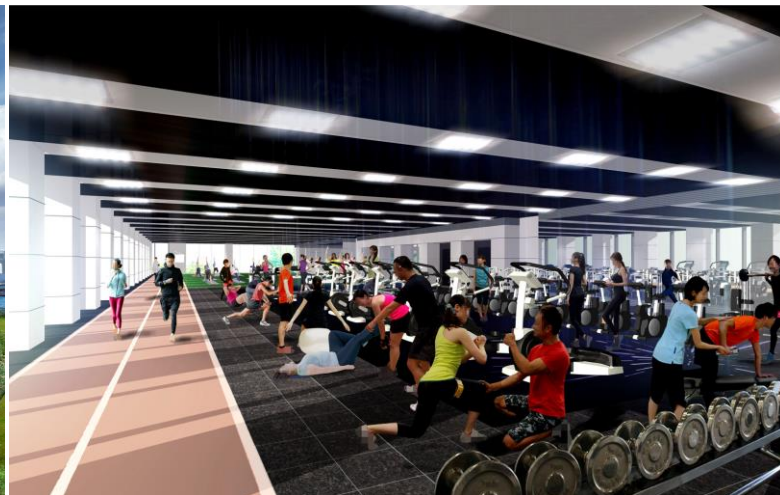
ヴィッセル神戸

着用モデル：DS LIGHT X-FLY 4



ASICS
GEL-FAIR

✓ 低酸素トレーニング施設の展開（東京都・豊洲）



ASICS Sports Complex TOKYO Bay（仮称）

✓ 東京・日比谷公園内にスポーツをテーマとした施設をオープン



✓ ASICS REBORN WEAR PROJECT



2019年1月24日
アシックス原宿フラッグシップでのイベントの様子



- ✓ 企業理念に基づき、事業のあらゆる場面で環境と社会のサステナビリティを追求

#2020に行ってこい
ASICS REBORN WEAR PROJECT

環境 **55%**

製品あたりのCO2排出量
2030年削減目標

社会 **100%**

1次委託先工場にサプライ
チェーン管理プログラムを適用

社会 **\$550,541**

コミュニティへの資金援助
および物品提供額



CSR・サステナビリティについての詳細は[こちら](#)



コーポレートガバナンス

- ✓ 透明性の高い経営を実現するためのコーポレートガバナンスを目指す

取締役会の構成

1/3以上

独立社外取締役を含む独立性の高い取締役会を設置

実効性評価の実施

毎年、取締役・監査役により取締役会の実効性について
分析・評価し、その結果を開示

指名・報酬委員会の設置

公正性および透明性を確保するため、
過半数を独立社外取締役で構成

コーポレートガバナンスの取り組みについての詳細は[こちら](#) 18

✓ 当社のESG活動は各種外部評価を受けています

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM



サステナビリティ

- 多くのESG指数の構成銘柄に選定
- 2030年度CO2排出量削減目標が、「Science Based Targetsイニシアチブ」に承認



MSCI



2018 Constituent
MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

ダイバーシティ & インクルージョン

- 「グッドキャリア企業アワード 2018」大賞
- 平成30年度女性が輝く先進企業「内閣府特命担当大臣賞」
- 「えるぼし」(最高位)

女性が輝く
先進企業 2018



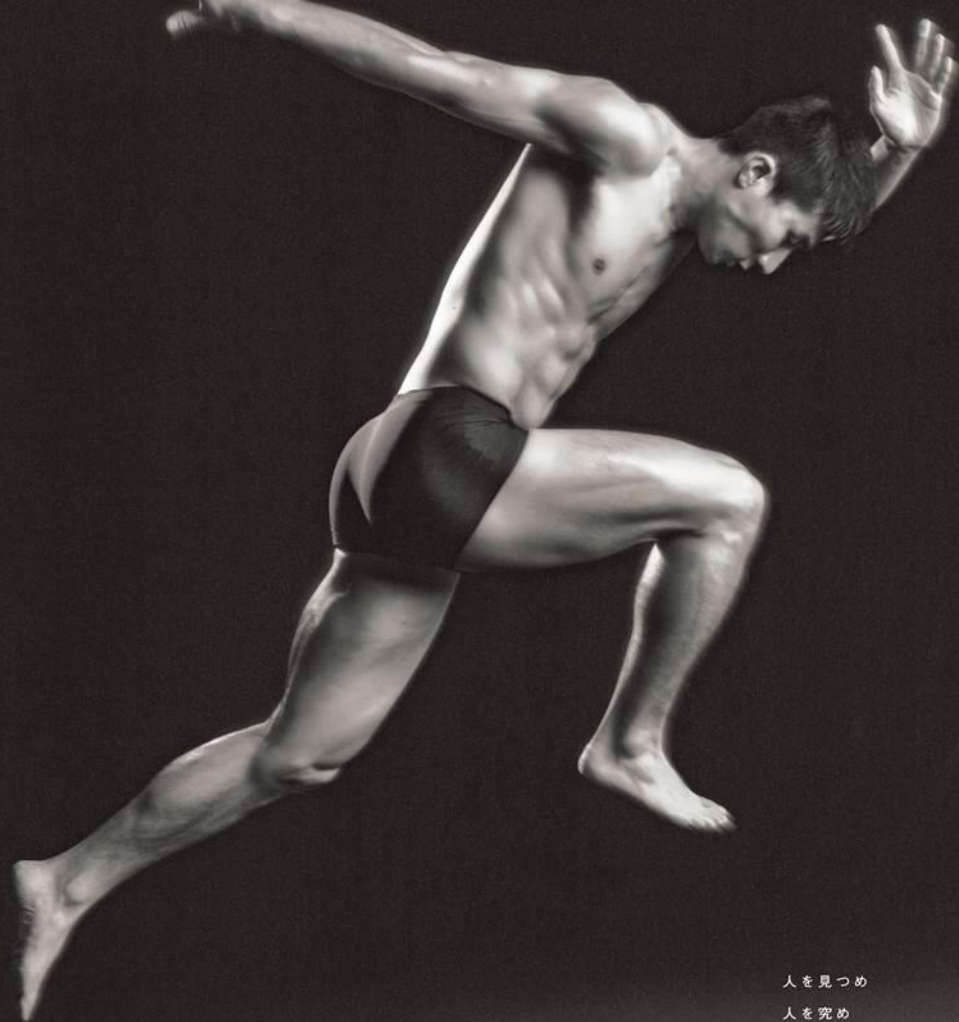
健康経営

- 「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に選定
- 平成30年度「スポーツエールカンパニー」に選定



THE INCLUSION OF ASICS CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF ASICS CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

**COMMITMENT
NO EXCUSE
TAKE ACTION**



人を見つめ
人を究め
人を変え
人に尽くし
人を守り
勝とうと思う。

2020へ。攻勢へ。

asics

DISCLAIMER

将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与うるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。